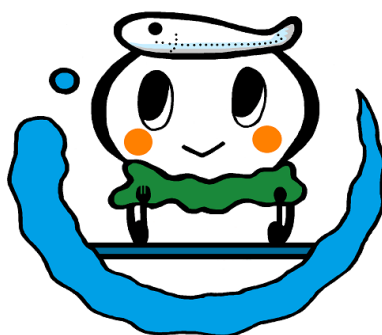


ずっとしあわせ 逗子市食育推進計画
平成 27 年度実施事業における年次評価結果報告書



平成 28 年 7 月
逗子市福祉部国保健康課

目次

はじめに	・・・・・・・・ 1
逗子市食育推進計画の概要	・・・・・・・・ 2
平成27年度逗子市食育推進事業第三者評価シート【個別事業評価】	
取組みの方向1 いきいきと健康に暮らす	・・・・・・・・ 3
取組みの方向2 安心して食べられる	・・・・・・・・ 5
取組みの方向3 地域で支えあう	・・・・・・・・ 6
取組みの方向4 食文化を守り伝える	・・・・・・・・ 7
平成27年度逗子市食育推進事業第三者評価シート【総合評価】	・・・・・・・・ 8

はじめに

平成23年3月に策定した逗子市食育推進計画においては、5年後の最終的な目標値を達成するため、平成24年度から年次評価を行い、進行管理を進めるとともに各事業の内容の充実を図ります。今年度は5回目の年次評価として、市の事業と庁外機関で実施した69の食育推進事業について評価を行いました。

年次評価では、まず平成27年度の食育に関する状況と、平成28年度の方向性を、各事業の担当者が逗子市食育推進事業自己評価シートに記載します。その後、逗子市食育推進懇話会（※）メンバーの方々に、自己評価シートに対するご意見を伺い、課題の抽出等を行います。

評価結果は、各事業のさらなる向上を図るため、各事業者へフィードバックするとともに、今後の普及啓発の方向性と内容を検討する資料として活用していきます。

この評価が、逗子市の食育の一層の充実と普及につながるよう、また、更なる食育の推進を図る第2次食育推進計画の基礎となるよう、引き続きオール逗子の力で、食育を進めてまいります。

※ 逗子市の食育を推進するため、広く市民等の意見を聴取することを目的に、公募市民、学識経験者、市民団体、ボランティア、食に関係する事業者、関係機関等の代表者などにより構成されています。

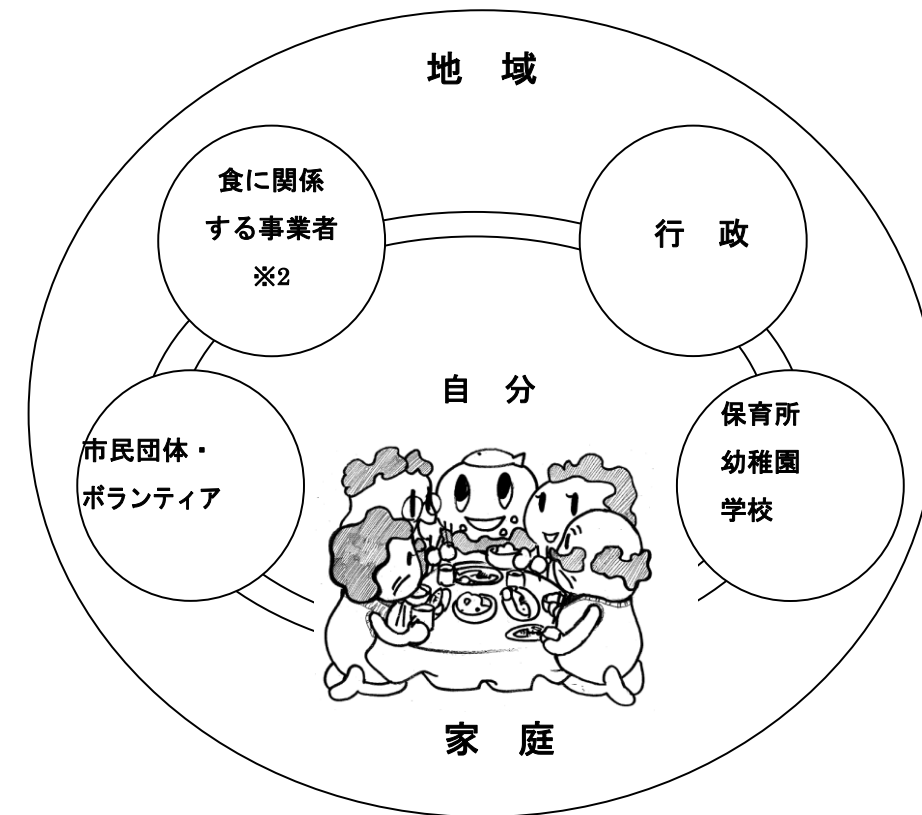
逗子市食育推進計画の概要



逗子市食育推進計画では、「しあわせつむぐ心豊かな食生活」の基本理念を実現するために、食育を推進していくための取組みの方向を次の4つに定めます。次の取組みの方向の中で実施する活動内容のうち、今回の年次評価では市の事業を中心に計51事業の評価を行いました。

取組みの方向	取組みの方向の目標	目標達成のアプローチ	活 動 内 容
1. いきいきと健康に暮らす	市民の健康を維持増進するために望ましい生活習慣づくりを進めます	①食について学び、生涯にわたって健康を保つ食習慣づくりができるように支援します	母親・両親教室、母乳・授乳相談、乳幼児健診、離乳食教室、2歳児すくすく教室、すこやか健診、食事相談・健診結果相談、男性の健康料理教室、健康教室、ヘルスアップ教室、特定保健指導、訪問指導、健康相談、栄養改善教室、親子の料理教室、キッズクッキング教室、保護者への試食会の実施、給食日より給食を通しての「食」に関する普及、授業を通しての栽培活動、「食育」の普及・実践に関する専門研修の開催
		②心豊かな食卓に向けた環境づくりを進めます	食堂サービス事業、ふれあいサロン、ひとり暮らし高齢者の栄養と健康を考える集い、お泊りキャンプ、お母さんと一緒にクッキング
2. 安心して食べられる	地域で安心して食することができる取組みを進めます	①地産地消の取組みを進めます	創作料理レシピコンテスト、幼稚園における農家の方との栽培活動
		②市民と食に関係する事業者との交流を支援します	芋掘り・いちご狩り等、勤労感謝の時の地域まわり、わかめの種つけ
		③誰もが食に対して安全かつ安心して生活することができるよう情報の提供に努めます	栄養表示等適性化推進事業、アレルギーベビー★キッズ&ママあつまれ、やむやむ等の機関誌やチラシにおける啓発
		④食の安全・安心を図るための地域ネットワークづくりを進めます	イベント等の地域連携
3. 地域で支えあう	食を通じたまちづくりを進めます	①食育に取り組む市民団体やボランティアの活動を支援し、食の輪づくりを進めます	食に関するボランティア、高齢者いきいきサポート事業
		②食育に関する専門的知識を有する者を養成します	食生活改善推進員養成講座、食生活改善指導者研修会、地域保健活動推進研修会(食育推進)、食育普及促進事業、地域育児支援ヘルパー養成講座
		③保健医療機関等における食育の普及と啓発活動を進めます	食事相談・健診結果相談、病態対応食配食事業、高齢者配食、訪問栄養指導
		④市内の食に関係する事業者の食育活動を支援します	特定給食等指導事業
4. 食文化を守り伝える	食文化を守り伝える取組みを進めます	①日々の暮らしの中で食文化を理解する取組みを進めます	小学校給食提供、男性のためのそば打ち体験教室、行事給食、資源開発委員会逗子さくら産品、親子の料理教室
		②豊かな環境を次世代につなぎます	自治会活動、みかん投げ
		③市民と食に関係する事業者との食を介したネットワークをつくります	わかめの種つけ、名越の田植

オール逗子の取組み ※1



※1 保育所、幼稚園、学校、市民団体・ボランティア、食に関係する事業者、行政が主体的に関わり、力を合わせて取り組むことです。

※2 食に関係する事業者とは、NPO法人、小坪漁業協同組合、よこすか葉山農業協同組合、逗子市商工会などをさします。

目 標 この計画の達成を目指し、3つの目標をたてています

目標	指標	目標値	現状値
①食事を楽しくおいしく食べる	毎日3食食べる人の割合	90%	81.9%
	食事を満足している人の割合	80%	71.1%
②食事づくりに参加する	食事づくり(買い物・調理・配膳・片付け等手伝いも含む)に参加している人の割合	95%	91.8%
③地域活動に参加する	地域の活動に参加している割合	70%	62.2%
	農林水産に関わる体験をしたことがある割合(教育ファームを含む)	90%	84.3%

*計画期間は、2011年度(平成23年度)から2015年度(平成27年度)までの5年間。

*現状値は、2010年(平成22年)5月実施の「逗子市食育に関するアンケート」による。

平成27年度逗子市食育推進事業第三者評価シート【個別事業評価】

取組みの方向1 いきいきと健康に暮らす

1/2

評価欄には、A、B、Cのいずれかを選択してください。

A・・・平成27年度の事業は食育の推進に大いに寄与されており、今後も推進が期待される。

B・・・平成27年度の事業は食育の推進に寄与されているが改善の余地があると思われるため、今後さらなる工夫を取り入れた推進が期待される。

C・・・平成27年度の事業は食育の視点を取り入れることができなかつたと判断されるため、今後は食育の視点を取り入れた事業展開が期待される。

《目標達成へのアプローチ①》

食について学び、生涯にわたり健康を保つ食習慣づくりができるように支援します。

- ・バランスのとれた食事をとり、生活習慣病の予防を図ります。
- ・年齢に応じた食生活の知識を身につけられるようにします。

No.	名称	評価
1	母親・両親教室	A
2	母乳・授乳相談	A
3	乳幼児健診(4か月児健診)	A
4	離乳食教室	A
5	乳幼児健診(お誕生日前健診)	A
6	乳幼児健診(1歳6か月児健診)	A
7	2歳児すくすく教室	A
8	乳幼児健診(3歳児健診)	A
9	すこやか健診	A
10	ミニ講演会	C
11	健康・栄養相談	A
12	男性の健康料理教室	A
13	健康教室「高齢期の食べる機能と食事のポイント」「ロコモ予防のために知っておきたい肩、腰、膝のこと」 「血管をいきいきさせるコソ講座」	A
14	特定保健指導	A
15	訪問指導	A
16	健康相談	B
17	食事何でも相談	A
18	健康サポート出前講座	A
19	栄養改善教室「おうちごはん講習会」「3・1・2弁当箱法講習会」	A
20	口腔機能向上・栄養改善プログラム	A

平成27年度返子市食育推進事業第三者評価シート【個別事業評価】

取組みの方向1 いきいきと健康に暮らす

2/2

No.	名称	評価
<p>＜目標達成へのアプローチ①＞ 続き 食について学び、生涯にわたり健康を保つ食習慣づくりができるように支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バランスのとれた食事をとり、生活習慣病の予防を図ります。 ・年齢に応じた食生活の知識を身につけられるようにします。 		
21.1～21.5	返子市立小中学校における「食育」の年間指導計画の立案や授業実践での取組み(小学校) * 取組み5校	B,A,A,A,A
22.1～22.3	返子市立小中学校における「食育」の年間指導計画の立案や授業実践での取組み(中学校) * 取組み3校	B,A,A
23.1	「食育月間」における食育の推進依頼(小学校) * 取組み1校	B
24.1	「食育月間」における食育の推進依頼(中学校) * 取組み1校	B
25.1	「食に関する指導」実施状況調査の依頼と結果の活用(小学校) * 取組み1校	B
26.1	「食に関する指導」実施状況調査の依頼と結果の活用(中学校) * 取組み1校	A
27.1～27.5	自然体験学習(小学校) * 取組み5校	A,A,A,A,A
28.1～28.3	自然体験学習(中学校) * 取組み3校	A,A,A
29.1～29.2	親子ふれあい食育教室の協力校の依頼(小学校) * 取組み2校	A,A
30.1	親子ふれあい食育教室の協力校の依頼(中学校) * 取組み1校	A
31.1～31.5	小学校給食提供【再掲】取組み4－①(小学校) * 取組み5校	A,A,A,A,A
32	中学校給食	A
33.1～33.5	給食試食会(小学校) * 取組み5校	A,A,B,A,A
34	中学校給食試食会	A
<p>＜目標達成へのアプローチ②＞ 心豊かな食生活に向けた環境づくりを進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食卓交流の場づくりを進めます。 ・幸せを感じる食卓づくりを進めます。 		
No.	名称	評価
35	親子料理教室「魚のさばき方とおいしい食べ方」「みんなで楽しくこねこねクッキング」	A

平成27年度逗子市食育推進事業第三者評価シート【個別事業評価】

取組みの方向2 安心して食べられる

評価欄には、A、B、Cのいずれかを選択してください。

- A・・・平成27年度の事業は食育の推進に大いに寄与されており、今後も推進が期待される。
- B・・・平成27年度の事業は食育の推進に寄与されているが改善の余地があると思われるため、今後さらなる工夫を取り入れた推進が期待される。
- C・・・平成27年度の事業は食育の視点を取り入れることができなかつたと判断されるため、今後は食育の視点を取り入れた事業展開が期待される。

《目標達成へのアプローチ①》 地産地消の取組みを進めます。		
No.	名称	評価
—	該当事業なし	—
《目標達成へのアプローチ②》 市民と食に関係する事業者との交流を支援します。		
No.	名称	評価
—	該当事業なし	—
《目標達成へのアプローチ③》 誰もが食に対して安全かつ安心して生活することができるよう情報の提供に努めます。		
No.	名称	評価
36	食育関連図書の提供	A
37	平成27年度かながわ食の安全・安心基礎講座「体験して学ぼう！さかなのこと」	A
《目標達成へのアプローチ④》 食の安全・安心を図るための地域ネットワークづくりを進めます。		
No.	名称	評価
38	災害時におけるアレルギー用物資等の供給に関する協定	A

平成27年度逗子市食育推進事業第三者評価シート【個別事業評価】

取組みの方向3 地域で支えあう

評価欄には、A、B、Cのいずれかを選択してください。

A・・・平成27年度の事業は食育の推進に大いに寄与されており、今後も推進が期待される。

B・・・平成27年度の事業は食育の推進に寄与されているが改善の余地があると思われるため、今後さらなる工夫を取り入れた推進が期待される。

C・・・平成27年度の事業は食育の視点を取り入れることができなかつたと判断されるため、今後は食育の視点を取り入れた事業展開が期待される。

《目標達成へのアプローチ①》 食育に取り組む市民団体やボランティアの活動を支援し、食の輪づくりを進めます。		
No.	名称	評価
—	該当事業なし	—
《目標達成へのアプローチ②》 食育に関する専門的知識を有する者を養成します。		
No.	名称	評価
39	食生活改善推進員養成講座	A
《目標達成へのアプローチ③》 保健医療機関等における食育の普及と啓発活動を進めます。		
No.	名称	評価
—	該当事業なし	—
《目標達成へのアプローチ④》 市内の食に関係する事業者の食育活動を支援します。		
No.	名称	評価
—	該当事業なし	—

平成27年度逗子市食育推進事業第三者評価シート【個別事業評価】

取組みの方向4 食文化を守り伝える

評価欄には、A、B、Cのいずれかを選択してください。

A・・・平成27年度の事業は食育の推進に大いに寄与されており、今後も推進が期待される。

B・・・平成27年度の事業は食育の推進に寄与されているが改善の余地があると思われるため、今後さらなる工夫を取り入れた推進が期待される。

C・・・平成27年度の事業は食育の視点を取り入れることができなかつたと判断されるため、今後は食育の視点を取り入れた事業展開が期待される。

《目標達成へのアプローチ①》 日々の暮らしの中で食文化を理解する取組みを進めます。		
No.	名称	評価
40	国際文化フォーラムin逗子	B
41.1～41.5	小学校給食提供【再掲】取組み1－①(小学校)＊取組み5校	A,A,A,A,A
42	中学校食育授業(中学校教育を知る)	A
《目標達成へのアプローチ②》 豊かな環境を次世代につなぎます。		
No.	名称	評価
—	該当事業なし	—
《目標達成へのアプローチ③》 市民と食に関係する事業者との食を介したネットワークをつくります。		
No.	名称	評価
43	平成27年度逗子市食育講座「地域に学ぶ料理教室 和菓子をつくろう！」	A
44	逗子の地場産物やその加工品等の販売	B

平成 27 年度逗子市推進事業第三者評価シート【総合評価】

全体を通しての意見

- ・事業ごとの評価が人数であったり%であったりすることを改善した方が評価しやすい。(全体が分からないと%も把握できない)
- ・事業としては良い内容でも、広報が充分とは言えないものもあるので、さらなる取組みが必要であるものもある。
- ・食事について相談できる体制づくりが具体的な取組として進むとよいのではないかな。
- ・家庭をつなぐためには、子ども達に家で食育を話のタネにしてもらえるような働きかけや声かけをして、子どもを介したつながりを家庭ともてるとよいのではないかな。
- ・5月に実施された小学生(1年生)の試食会に参加し気づいたこと。給食を食べる時間が短いので1人の摂取量が少ない。食べる前から飲み物(牛乳)を減らし、各自専用の容器に入れる。完食を求める反面、最初から量を減らし、基準量を摂取できていない子もいる。配膳者(当番の児童)は、他児より食べる時間がない。食べたいが食べる時間がないので結局残量が多くなる。
- ・世代交流をしていかないと食文化が絶えてしまいそうな気がする。
- ・地区の産品を広くひろめていく手段が弱い。

特に意見がある事業について

- ・NO.10 前回もB評価。今回は記載がない。継続となっているのに目標を立てていなかったから評価できないのではないかな。担当者にも改善の意欲があったのか不明。時間の問題であるならば例えばNO.7の「2歳児すくすく教室」と一緒にするなど工夫の余地はあるのではないかなと思う。
- ・NO.16 健診優先になると時間的に難しい。受診者のニーズとややずれがある。他の事業の場で実施した方が良いかもしれない。
- ・NO.21.1、22.1 取組んでいる内容が評価シートに表しきれっていないのではないかな。(実はもっと取組んでいたたり、効果が出ているのかもしれないが記入がないので評価できない)
- ・NO.33 「食育」本来の目標が達成されていない。よく噛んで食べる→早食い、「食べたい」という思いを満たしていない→時間がない、給食を作ってくれる人に対する感謝の気持ちを持つ(残さず食べる気持ち)→残量の多さ、楽しい雰囲気でする。
- ・NO.40 フェアトレードは広めていくべきであるが、国際文化フォーラムと兼ねる必要があるのか。それとも別のものと抱き合わせるか。
- ・NO.44 地場産品を販売する定点的な場所がある。地場産品の情報提供の手段を多様化させる。